

## 貸借対照表

(2019年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>資 産 の 部</b>		<b>負 債 の 部</b>	
<b>流 動 資 産</b>	2,289	<b>流 動 負 債</b>	693
現 金 及 び 預 金	37	買 掛 金	272
売 掛 金	447	未 払 金	406
商 品 及 び 製 品	0	未 払 法 人 税 等	9
半 製 品	392	前 受 金	4
原 材 料	169	預 り 金	0
仕 掛 品	527		
貯 蔵 品	84	負 債 合 計	693
前 渡 金	16		
前 払 費 用	11	<b>純 資 産 の 部</b>	
未 収 入 金	18	<b>株 主 資 本</b>	2,123
預 け 金	582	資 本 金	100
<b>固 定 資 産</b>	527	資 本 剰 余 金	1,844
<b>有 形 固 定 資 産</b>	495	資 本 準 備 金	1,844
建 物	0		
機 械 及 び 装 置	420	<b>利 益 剰 余 金</b>	178
工 具 ・ 器 具 及 び 備 品	64	そ の 他 利 益 剰 余 金	178
建 設 仮 勘 定	10	繰 越 利 益 剰 余 金	178
		当 期 純 利 益	105
<b>無 形 固 定 資 産</b>	0		
ソ フ ト ウ ェ ア	0		
<b>投 資 そ の 他 の 資 産</b>	30		
長 期 前 払 費 用	0		
繰 延 税 金 資 産	30		
		純 資 産 合 計	2,123
資 産 合 計	2,816	負 債 及 び 純 資 産 合 計	2,816

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

## 1. 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

## ① 製品・半製品・仕掛品

一般製品……………総平均法による原価法

個別受注品……………個別法による原価法

## ② 原材料……………総平均法による原価法

## ③ 貯蔵品……………個別法又は最終仕入原価法

なお、収益性が低下した棚卸資産については、帳簿価額を切り下げております。

## 2. 固定資産の減価償却の方法

## (1) 有形固定資産

定額法を採用しております。

## (2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

## 3. 引当金の計上基準

貸倒引当金

売上債権等の債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

## 4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

.....

(注) 本個別注記表の記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。